



平成 22 年 救急出動状況



救急出動状況

救急 出動件数は 711 件（前年比 19 件増）、搬送した人は 671 人（前年比 11 人増）となりました。出動件数の内訳は病気などの「急病」が 438 件（約 6 割）、次にケガなどの「一般負傷」が 92 件、「交通事故」が 80 件です。

26 人に 1 人が救急車を呼んだことに！

救命率 UP のために

救急隊 が到着した時に心臓や呼吸が止まっていた件数は 22 件で、救急隊が到着するまでに家族などが心肺蘇生法（＝胸骨圧迫・人工呼吸）を行っていた件数は 9 件でした。心臓や呼吸が停止した方に救急車が到着するまでの間、胸骨圧迫や人工呼吸等の救命手当をすれば、命が助かる可能性が高くなります。

当別消防署では AED（自動体外式除細動器）を用いた心肺蘇生法や止血法などを習得できる普通救命講習を実施しています。適切な救命手当を身に付けるために、救命講習を受講しませんか。

◎普通救命講習

▼日時 毎月第 4 日曜日 13 時～ 16 時

▼場所 当別消防署（錦町）

▼内容 心肺蘇生法・止血法など

◆一度受講した方は 2 年毎に再講習の受講をお勧めします。各団体などグループで申し込む場合は、受講希望日に実施することもできます。

▼詳細 当別消防署救急救助課救急係（☎ 23 - 2537）
石狩北部地区消防事務組合
（URL <http://www.ishikari-hokubu119.jp/>）

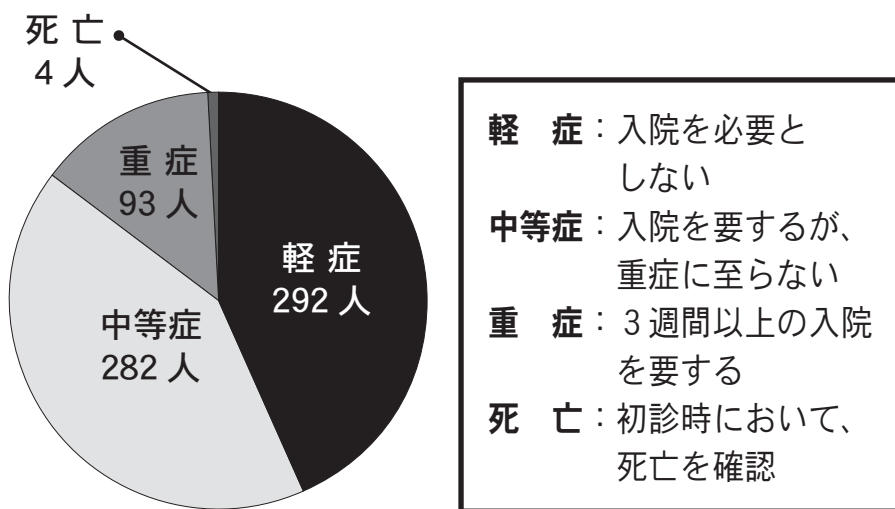
救急車の適正利用にご協力を ～救急車を呼ぶ前に～

搬送 した人の約 44% が軽症者であり、救急搬送に占める軽症者の割合が高いのが現状で、全国的にも同様の状況です。

「かすり傷などの軽いケガ」や「急を要する病気ではないが、どこの病院に行けばいいのかわからない」又は「救急車で行けば早く診てもらえる」など、救急車が緊急性のない人のために出動するケースも多く、1 分 1 秒でも早い手当を必要とする重症者のもとへの到着が遅れてしまうことが心配されます。

119 番 をする前に、新聞や町広報などに掲載している「救急当番病院」を確認するか、当別消防署の代表電話（☎ 23 - 2537）に電話をしていただくと、その日の救急当番病院を紹介いたしますので、自家用車やタクシーが利用できないか、もう一度検討してみてください。今後とも、尊い生命を救うために、救急車の適正な利用にご理解とご協力をお願いします。

平成 22 年 傷病程度別搬送人員



平成 22 年の火災状況 ～火災件数「0」を目指して～

火災 件数は 9 件で前年より 4 件の減少となり、火災による損害も 2,207 千円で前年より 9,276 千円の減少となりました。件数は減少したものの、建物火災 3 件のうち住宅火災が 2 件発生しています。

また、スプレー缶等の破裂により出火したゴミ収集車の火災等を含む「車両火災」が 5 件、庭の囲い木が焼損した「その他火災」が 1 件発生しました。



住宅用火災警報器を設置してください

住宅用火災警報器の設置が義務付けられてから 2 年以上が経ちましたが、皆様のご自宅では設置がお済みでしょうか？住宅火災の死者の多くが逃げ遅れによるものです。

住宅用火災警報器により火災をいち早く発見し、あなたの大事な生命・財産を守りましょう。

▼詳細 当別消防署予防係（☎ 23 - 2537）